

第3章 魅力と活力にあふれた産業を伸ばす

◆観光

1. 観光振興開発推進本部活動費

222 万円 観光課

観光振興を図るため、関係機関や団体と連携し、市の豊かな観光資源を生かした具体的な施策を企画し、推進します。

2. 観光統計調査事業費

500 万円 観光課

観光施策の基本となる観光客の入り込み状況、動向の調査を行います。

3. 観光戦略ビジョン策定費

460 万円 観光課

観光振興開発推進本部での協議内容を体系的にまとめ、市の観光振興の基本となる計画書を策定します。

4. 観光協会補助金

1 億 9, 069 万円 観光課ほか

市の観光資源のPRやさまざまな誘客イベントなどを実施する観光協会の運営・活動費用を助成します。

5. 奥日光景観照明事業費

1, 670 万円 観光商工課(日光総合支所)

中禅寺湖畔の大鳥居と東棧橋間までの園地をライトアップする照明施設を整備し、夜間のにぎわいを演出することにより、奥日光の活性化を図ります。

財源：県の負担1, 500万円、市の負担170万円

6. 銅山観光事業特別会計

8, 385 万円 観光経済課(足尾総合支所)

江戸時代に発見された足尾銅山で、昭和にかけて働いた人々の姿や歴史、鉱山の仕組み、採掘方法などを知ることができる足尾銅山観光の運営費です。

財源：入坑料8, 097万円、テナント電気代120万円、そのほか168万円



中禅寺湖畔の大鳥居
夜間にライトアップをすることで、奥日光への観光客の誘致を推進します。

7. 庚申山荘運営費

643 万円 観光経済課(足尾総合支所)

登山者の利用拡充と自然環境保護を目的に、庚申山荘のトイレを環境に優しいバイオトイレに改築します。

財源：庚申山荘使用料55万円、市の負担588万円(うち借金580万円)

8. 「産業遺産」と「環境教育」によるわがまち自慢事業費

420 万円 観光経済課(足尾総合支所)

足尾地域の産業遺産と松木地区の自然環境を活用し、ガイドの養成と、観光プログラムを作成・商品化するとともに、関係団体と連携しながら観光客の受け入れ態勢づくりを進めます。

財源：県の負担210万円、市の負担210万円

9. 温泉事業特別事業会計

9, 040 万円 観光経済課(栗山総合支所)

栗山地域のホテルや旅館、民宿、共同浴場、一般家庭へ温泉を供給し、観光客の誘客また地区住民の福祉の向上と健康増進を図ります。

財源：温泉使用料5, 006万円、基金からの繰入600万円、そのほか18万円、市の負担3, 416万円

◆農業

1. 住民参加型獣害防護対策実践モデル事業費

113 万円 農林課

イノシシ用の電気柵設置を含む、住民参加型の総合的な獣害防護対策事業を実施する団体などを支援します。

財源：県の負担75万円、市の負担38万円

2. 県営ほ場整備事業費

4, 964 万円 農林課

農地を整形し、農道や用排水路を整備することで、生産性の高い農地を造ります。コストダウンや担い手の育成、効率的な農業経営を図り、活力ある農村環境を目指します。

財源：市の負担4, 964万円(うち借金3, 600万円)

3. 地産地消・グリーンツーリズム推進事業費

325 万円 農林課

農産物の地産地消を推進するため、地元農産物を市内外の方にPRし、消費拡大に取り組みます。また、都市住民と地域住民の交流事業として農業体験を実施します。



庚申山荘
庚申山や皇海山へ登る登山客などに利用されています。

住民参加型獣害防護対策実践モデル事業
○実施地区…明神地区(今市地域)



県営圃場整備事業
沓掛地区(今市地域)に整形されたほ場および整備された道路・水路です。

4. 中山間地域等直接支払交付事業費

1,794 万円 農林課ほか

中山間地域について、適正な農業生産活動を維持し、農地の持つ多面的機能を保全するため、対象農用地に対して交付金を交付します。

財源：県の負担1,218万円、市の負担576万円

5. 農地・水・環境保全向上対策事業費

1,523 万円 農林課

農地や水を守る効果の高い地域ぐるみでの共同活動と、環境保全に向けた営農活動に対して支援を行います。

6. 農業用機械・施設等導入事業費

773 万円 農林課

集落営農の組織化や運営に必要な機械や施設などの導入を支援します。また、そばの振興のために機械の導入を支援します。

7. 県営ふるさと農道緊急整備事業費

900 万円 農林課

ほ場整備事業地内の農道のうち、幹線農道(1路線)の舗装工事を行います。

財源：市の負担900万円(うち借金810万円)

8. 市営ふるさと農道緊急整備事業費

1 億円 農林課

ほ場整備事業地内の農道のうち、補助幹線農道(10路線)の舗装工事を行います。

財源：市の負担1億円(うち借金9,000万円)

9. 県単農業農村整備事業費

5,800 万円 農林課

県の補助を受けて、農道やかんがい排水路を整備・改修します。

財源：地元の負担405万円、県の負担2,400万円、市の負担2,995万円

10. 市単土地改良事業費

2,451 万円 農林課ほか

各地域団体が主体となっていく農道やかんがい排水路整備に対して、必要経費を助成します。さらに、農道やかんがい排水路、U字溝などの資材を支給します。

中山間地域等直接支払交付事業

○取組地区…13地区

○対象農地…12,731アール

農地・水・環境保全向上対策事業

共同活動

○取組地区…平成19年度から：10地区、平成20年度から：3地区(予定)

○対象農地…122,973アール

営農活動

○取組地区…平成19年度から：1地区

○対象農地…4,146アール



農業用機械・施設等導入事業

農業用機械として、大型コンバインが導入されました。



県単農業農村整備事業

県の補助により整備した、町谷地区(今市地域)の水路です。

11. 農地を活かす里づくり事業費

73 万円 農林課

耕作放棄地対策および野生獣による農作物の食害防止対策として、ヤギのレンタル放牧とボランティアによる猟犬パトロールを支援します。

12. 特産振興対策事業費

78 万円 農林課ほか

市の特産園芸作物である夏秋イチゴの安定的な生産基盤を確立するために技術的指導を行います。

13. 市民農園開設事業費

133 万円 農林課

農業に触れ、親しむ場を多くの人々に提供するため、市内2か所に市民農園を開設します。

14. 地域農業後継者対策事業費

41 万円 農林課ほか

地域農業の後継者などが行う組織活動を支援します。また、農業後継者などによる海外の農業事情についての調査研修を支援します。

◆林業

1. 森林組合振興費

3,153 万円 農林課

林業の活性化を促進するため、林業団体への支援や後継者育成を支援します。

2. 県単林道改良事業費

1,679 万円 農林課(日光総合支所)ほか

林業生産基盤の整備を図るため、市が管理する林道のうち、表男体線の舗装工事、平沢芹沢線・三河沢線の改良工事を行います。

財源：県の負担429万円、市の負担1,250万円

3. 県営林道改良事業費

1,445 万円 農林課

県が実施する県営林道事業(林道改良、安全施設整備)に対して、支払う負担金です。今年度は、今市、日光、藤原、栗山地域内の路線で20か所を予定しています。

財源：市の負担1,445万円(うち借金1,300万円)



特産振興対策事業

栗山地域で収穫された、夏秋イチゴです。



地域農業後継者対策事業

後継者海外派遣にて、海外の農業事情を知るため、ヨーロッパの市場で食品流通状況調査をしている様子です。

4. 流域公益保全林整備事業費

543 万円

農林課

森林の公益的機能の発揮や、効率的・一体的な間伐の実施を推進するため、補助金を交付します。

5. 森林整備地域活動支援交付金事業費

2, 045 万円

農林課

森林の所有者などによる、計画的で一体的な森林整備に必要な地域活動の確保を図るため、また森林の有する多面的機能を十分に発揮させるよう適切な森林整備の促進を図るため、交付金を交付します。

財源：県の負担1, 534万円、市の負担511万円

6. 治山林道事業費

4, 182 万円

農林課ほか

林道の維持管理や損害賠償保険などのほか、森林の多面的機能の持続的発揮や林業・林産業の振興を図るための経営作業道を整備する費用です。

財源：県の負担1, 851万円、市の負担2, 331万円(うち借金1, 040万円)

7. とちぎの元気な森づくり県民税交付金事業費

764 万円

農林課

とちぎの元気な森づくり県民税が今年度から新たに創設されました。これを利用して、森林の有する公益的機能の重要性を認識し、身近な里山林の整備やそれぞれの地域の実情に応じた森をはぐくむ人づくりを支援します。そして、栃木の元気な森を次の世代に引き継いでいきます。

財源：県の負担764万円

8. 野生獣害防止対策事業費

1, 050 万円

農林課ほか

野生鳥獣被害を防止するため、有害鳥獣捕獲や被害防止対策を実施します。

財源：県の負担155万円、市の負担895万円

9. 特定獣適正管理事業費

892 万円

農林課ほか

特定獣(シカ・サル・イノシシ・クマ)の適正な保護管理を実施することにより、動物と人が共存できる環境づくりを促進します。

財源：県の負担392万円、市の負担500万円

流域公益保全林業整備事業
○事業実施面積…107.9ヘクタール

とちぎの元気な森づくり県民税交付金事業
里山林整備
○対象森林…15.5ヘクタール
森づくり活動支援
○対象団体…12団体



野生獣害防止対策事業
被害防止のため、猪倉地区(今市地域)に設置された箱わなです。

◆水産業

1. 水産業振興事業費

69 万円

農林課ほか

市内の水産関連団体の連携を強化します。また、栗山地域において(仮称)水産フェアを実施し、水産業への理解促進と水産業の活性化を図ります。

◆商業

1. 今市オアシスセンタープラザ及び駐車場取得事業費

3 億 2, 935 万円

商工課

今市地域の中心市街地にあり、市民サービスセンターなどの市の施設が設置され、多くの市民の皆さんに活用されている今市オアシスセンタープラザと駐車場を取得し、中心市街地活性化の重要拠点施設として有効活用を図ります。

2. 中心市街地活性化推進事業費

411 万円

商工課

(株)オアシス今市では、今市地域中心市街地の商業経営基盤を安定させるため、買い物客用の駐車場を確保しています。その無料駐車場の運営費用を助成します。

3. 金融対策費

6 億 1, 497 万円

商工課

中小企業者の経営安定と中小企業の振興を図るため、中小企業者が事業に必要な資金を容易に調達することができるよう、中小企業振興資金の融資を行います。

4. 商工団体育成費

1, 963 万円

商工課ほか

商工業の活発な活動が展開できるように、日光商工会議所や今市商店会連合会、日光市工業連絡協議会、日光市民朝市実行委員会などの団体組織の強化を推進します。

5. 公設地方卸売市場事業特別会計

2, 049 万円

商工課

生鮮食料品の安定供給と流通の円滑化を図るとともに、生産者に対する産地市場としての役割を果たす、卸売市場の運営費です。

財源：利用者負担金305万円、施設の使用料108万円、その他2万円、市の負担1, 634万円



市民サービスセンター
オアシスセンタープラザ内にある市民サービスセンターは、休日にも窓口業務を行っています。



日光市民朝市
毎月第2日曜日の朝、今市地域のアーケード商店街で開催しています。毎回約30店が軒を並べ、たくさんの人が訪れます。

◆工業

1. 工業導入促進費

2億2,067万円

商工課

市内に工場の新設や増設を行う企業を支援します。初年度は助成金3,000万円を限度とし、次年度からは奨励金として10年間で総額7,000万円を限度額に支援します。

また、市内の製造業などに、地球温暖化防止につながる新エネルギーの導入などを普及啓発するため、産業エネルギービジョンを策定します。

財源：国・県以外からの補助500万円、市の負担2億1,567万円

◆雇用・労働・勤労者福祉

1. 勤労者住宅資金貸付金

4,000万円

商工課

勤労者の皆さんが市内に住宅を建築する際、最高800万円までの資金を融資します。

2. 産業振興ビジョン策定費

400万円

商工課

市内の産業の振興や雇用機会の拡大のための基本的な考え方を示す計画を策定します。

◆鬼怒川・川治温泉地域再生

1. 遊歩道整備事業費(鬼怒川地区)

3億6,006万円

地域再生推進課

自然環境を生かした遊歩道や大吊橋を一体的に整備し、観光客の回遊性の向上と地域の活性化を図ります。

財源：国の負担1億320万円、基金からの繰入1,296万円、市の負担2億4,390万円(うち借金2億4,390万円)

2. 遊歩道整備事業費(川治地区)

1,000万円

地域再生推進課

男鹿川沿いの遊歩道を再整備し、景観や温泉街らしさの向上を図ります。また、新たに整備される(仮称)川治温泉観光交流広場などへのアクセスの向上も図ります。

財源：国の負担170万円、基金からの繰入50万円、市の負担780万円(うち借金780万円)

遊歩道整備事業(鬼怒川地区)
○(仮称)鬼怒立岩大吊橋架設事業
○松原遊歩道整備事業



(仮称)鬼怒立岩大吊橋完成予想図
平成21年3月に完成予定です。

3. 地域再生事業費(鬼怒川地区)

1億5,827万円

地域再生推進課

温泉街らしい景観の創出と観光客の回遊性の向上を図ります。

財源：国の負担3,860万円、県の負担960万円、基金からの繰入2,007万円、市の負担9,000万円(うち借金9,000万円)

4. 地域再生事業費(川治地区)

2億1,250万円

地域再生推進課ほか

川治温泉地区の核となる集客施設やアクセス向上につながる施設を整備し、誘客促進と温泉街の活性化を図ります。

財源：国の負担3,580万円、基金からの繰入2,750万円、市の負担1億4,920万円(うち借金1億4,920万円)

5. 遊休地再生整備事業費(鬼怒川地区)

1億4,975万円

地域再生推進課ほか

温泉街のイメージを低下させる廃業ホテルを解体し、その跡地に中核的な観光スポットを整備することにより、温泉街らしい景観とにぎわいを創り出します。

財源：国の負担4,230万円、基金からの繰入615万円、市の負担1億130万円(うち借金1億130万円)

6. 遊休地再生整備事業費(川治地区)

2,023万円

地域再生推進課

廃業ホテルの跡地に、河川遊歩道とつながる新たな観光拠点施設を整備し、温泉街のにぎわいの創出と地域の活性化を図ります。

財源：国の負担340万円、基金からの繰入113万円、市の負担1,570万円(うち借金1,570万円)

地域再生事業(鬼怒川地区)
○温泉街らしさサイン整備事業
○鬼怒川公園駅公衆トイレ整備事業
○歩道高質化整備事業
○交差点改良事業

地域再生事業(川治地区)
○川治温泉薬師の湯整備事業
○川治湯元駅舎エレベーター整備助成事業
○川治地区コミュニティハウス進路整備事業

遊休地再生整備事業(鬼怒川地区)
○くろがね橋公園整備事業
○(仮称)滝見地区園地広場整備事業
○(仮称)滝見地区園地広場進入路歩道改良事業



(仮称)滝見地区園地広場完成予想図
平成21年1月に完成予定です。

遊休地再生整備事業(川治地区)
○(仮称)川治温泉観光交流広場整備事業